

エア・リキード、熊本でガス供給設備の増設を完了

日本エア・リキード合同会社（本社：東京都港区、会長兼CEO イリョン・パク）は、熊本ガスセンター（熊本県合志市）に新たに空気分離プラント2基の設置を完了し、3月27日にオープニングセレモニーを開催します。熊本ガスセンターは2001年の開所以来、セミコンテックパークにおける半導体産業の成長にあわせて、その事業規模を拡大しつつ、域内のお客様向けに産業ガスとサービスを提供してきました。

このたび新設したプラントは、エア・リキード独自技術による最先端の超高純度空気分離装置で、これまでになくレベルでの精緻さをめざし新たに開発した純度監視システムを搭載しています。また新プラントは液化ガス製品の生産も可能で熊本県や九州域内のテクノパーク外のお客様にも酸素や窒素を液状で配送します。

今回の新プラントの完成により同センターの総製造能力は5倍以上に拡大し、セミコンテックパークの将来の成長に対応します。またエネルギー効率率は20%上昇し、カーボンニュートラルへの取り組みを柱のひとつとしているグループの戦略計画「ADVANCE」に沿って環境負荷の低減に貢献いたします。従来に比べ年間で推定11,000トンの二酸化炭素（CO₂）の排出低減を見込んでおります。

開所式は熊本県、合志市、菊陽町の代表者をお迎えして執り行う予定です。

日本エア・リキード会長兼CEO、イリョン・パクのコメント：「今回エア・リキードの最先端技術が日本および熊本県の半導体産業発展に貢献できることを嬉しく思います。本投資はエア・リキードが掲げるADVANCE計画に沿うもので、今後もセミコンテックパークにおける半導体製造企業の戦略的パートナーとしての役割を果たすことで、地域の発展に貢献してまいります。」

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部

ww-aljcommunications@airliquide.com

03 - 6414 - 6728

日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード合同会社（ALJ）は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。医療においては病院向けのガス供給のほか、在宅医療分野に注力。医療従事者や患者様が必要とする新たな治療機器やIoTを活用したソリューションを開発提供しています。

エア・リキードのエレクトロニクス事業

エア・リキードのエレクトロニクス事業部門は、2023年に24億8300万ユーロの収益を上げ、この業界向けの超高純度ガスや先端材料の設計・製造・供給において世界をリードしています。エア・リキードのエレクトロニクス事業部門は、半導体、太陽光発電、フラットパネルディスプレイ市場に革新的で持続可能なソリューションを提供する長期的なパートナーです。世界中で約4,500人の従業員が、お客様のニーズに迅速かつ信頼性を持ってお応えするよう、日々努めています。www.electronics-airliquide.com

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界72カ国で67,800人の従業員を擁し、400万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに欠かせない必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の核となってきました。

エア・リキードは、未来に備えつつ今日アクションをとることを戦略の中心に据えています。2025年までの戦略プラン「ADVANCE」により、財務的業績目標と財務を超えた取り組みを組み合わせた包括的なパフォーマンスを目指します。新しい市場をとらえ、柔軟さと強さを兼ね備えたビジネスモデル、技術知見に立脚したイノベーション力を生かしてまいります。エア・リキードは気候とエネルギー転換、とりわけ水素エネルギーに寄与するソリューションを開発し、医療、デジタル、ハイテク分野に注力してまいります。

2023年の売上高は275億ユーロを超えました。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、FTSE4Good Indexの構成銘柄です。

